



道農連

2015年5月の月間活動トピックス

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

T P P交渉の国会決議堅持を求め、北海道緊急要請集会を開催

道農連は、J A道中央会、道漁連、道森連の4団体で実行委員会を立ち上げ、5月16日に札幌市内の共済ホールで、「T P P交渉の国会決議堅持を求める北海道緊急要請集会」を開催した。これは、大筋合意を目指すT P P閣僚会合が5月下旬にも開かれる可能性が高まったためだ。

集会では、石川純雄委員長が意見表明を行い、「米の特別輸入枠の設定を日本から提示したのが事実であれば国会決議に反する」などと指摘し、決議を無視した交渉からの即時脱退を強く訴えた。集会には、全道から地区・市町村農連関係者を含め650人超が結集。道内選出国會議員に対し、交渉の情報開示と国会決議の順守を強く要請した。

集会終了後には札幌中心部でデモ行進を行い、「国会決議を守れないなら脱退しろ」などと市民・道民に訴えた。

中央行動で市町村長賛同署名を提出

道農連(石川純雄委員長)は5月20日、T P P緊急要請中央行動を実施し、道三役など各地区代表者25名が上京した。T P P交渉が極めて緊迫した局面を迎えていることから、T P P交渉の「情報開示」と「国会決議順守」を求める緊急要請と道内の市町村長の賛同署名(第1次分・138名)を中川郁子農水大臣政務官(林農水大臣宛て)に提出した。また、道内選出国會議員に対しても緊急要請を行った。

なお、賛同署名は6月1日まで集約を行い20市町村分が追加(最終集約数158/179市町村長)となり、同日、中川大臣政務官宛てに郵送した。

地区別の状況は、HPをご覧ください

5.20 T P P緊急国会行動に参加

道農連上京団(25名)は5月20日夜、5.20 T P P緊急国会行動に参加した。全国から結集した農民、消費者団体、市民団体など約400人とともにキャンドル国会請願デモや国會議員会館前アピール行動を行った。

第2回酪農・畜産対策委員会を開催

道農連は29日、第2回酪農・畜産対策委員会を開催し、平成28年度国費概算要求に向けた酪農・畜産基本政策の確立など「酪農・畜産に関する政策提言」の組織討議案を取りまとめた。また、「北海道における飼料米の取組などについて」ホクレン飼料部との意見交換を実施した。

5月の活動記録(上記以外)

- 1日 第86回全道メーデー大会
- 8日 平成27年度第1回地域情報交換会
- 22日 27年度第1回畜産再興プラン北海道ブロック会合
- 27日 北海道農業再生協議会27年度第1回通常総会
- 28日 てん菜協会第29回通常総会、第2回理事会
- 30日 北海道農団労第23回定期大会
T P Pと医療を考える道民集会
- 31日 アジア・アフリカ支援米「田植え祭」

6月の活動予定

- 2日 第2回畑作・野菜対策委員会
- 5日 第2回米・水田農業対策委員会
- 15日 新たな果樹農業振興基本方針に係る北海道ブロック会議
- 16日 てん菜協会：てん菜生育状況等現地圃場調査～17日
(オホーツク・十勝管内)
- 18日 第1回組織・財政委員会
- 23日 道農連女性書記の会幹事会
- 29日 三役会議
- 30日 第3回執行委員会・第1回真の農政改革実現対策委員会合同会議

詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(011-241-5416)まで